

令和5年11月30日

## 業務で文書生成A Iを試用！ 利活用にポジティブな反応 ～中間報告を取りまとめました～

今年6月29日から試用している文書生成A Iの実証結果を受け、次年度からの本格導入に向けて取り組んでまいります。

### 記

#### 1 利用した文書生成A I（6月29日～）

ChatGPT

#### 2 利用実績（利用29課）

#### 3 文書生成A I 第1回アンケート結果まとめ

##### （1）業務利用について、ポジティブな反応

- ・ 9割以上の職員が、「仕事効率の向上につながる」と回答
- ・ 8割の職員が、文書生成A Iの継続利用意向あり
- ・ 7割の人が新しいアイデアを得られた

##### （2）文書生成A Iの業務利用への改善点

- ・ 「適切でない回答」「精度の低い回答」→4～5割

##### （3）アンケートまとめ

- ・ おおむね、文書生成A Iの有効性について確認した。  
特に、単なる検索ではない使用方法において効果が期待できる。
- ・ 質問の見本（テンプレート）など、使い方の例を要望する声が多く、効果的な利用方法について周知し、広く実務で活用する機会を設ける取り組みが必要。

#### 4 文書生成A Iの今後の活用方針

- ・ これまではフリー版のChatGPTの使用となりでしたが、入力可能な文字数の制限などがあるため、有償版の導入に向けて準備を進めます。
- ・ 便利なプロンプト（指示や質問）の紹介など、利活用を全庁へ展開します。
- ・ 文書生成A Iの安全な運用について、今後も継続して検討を重ねます。
- ・ 今回は「福島市文書生成A I利活用ガイドライン」※の改定は実施しません。

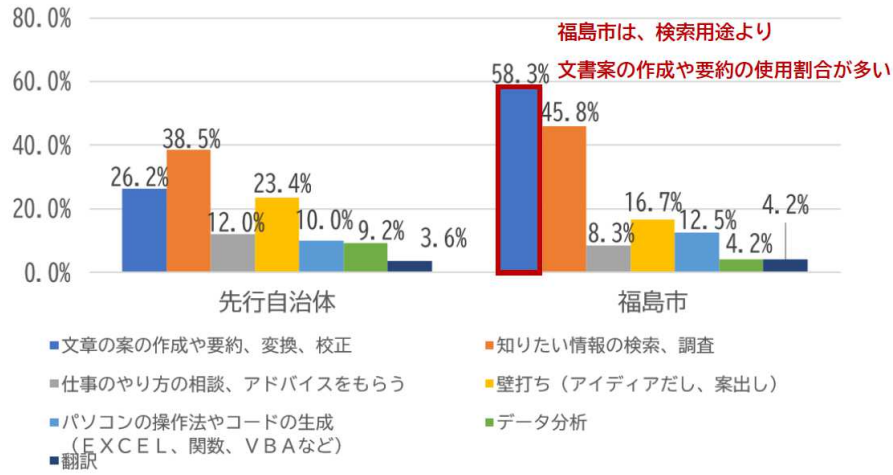
※ 福島市文書生成A I利活用ガイドライン（令和5年6月29日制定 項目抜粋）

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1 福島市文書生成A I利活用ガイドラインの目的 | 2 想定される利活用例         |
| 3 本ガイドラインが対象とするA I       | 4 文書生成A Iの利用を禁止する用途 |
| 5 文書生成A I利活用上の職員の責務      |                     |

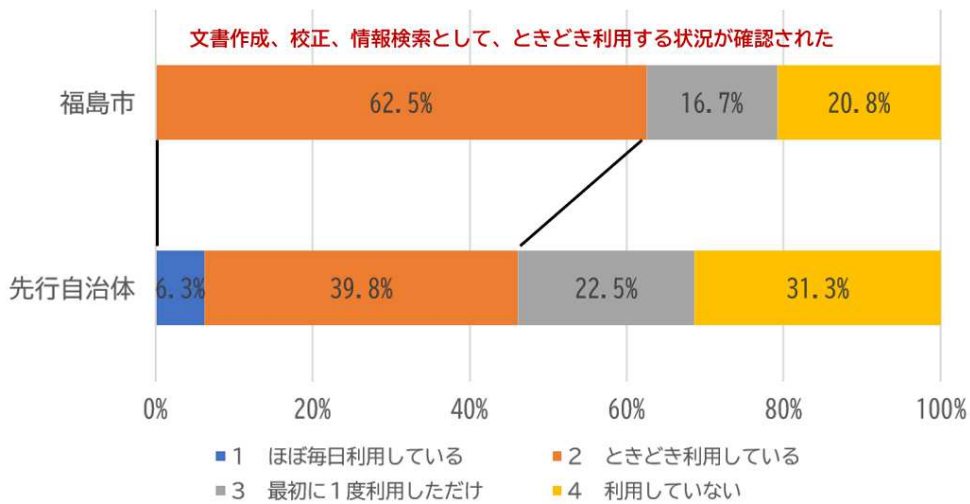
# アンケート結果

福島市 令和5年10月実施 先行自治体 令和5年4～5月実施

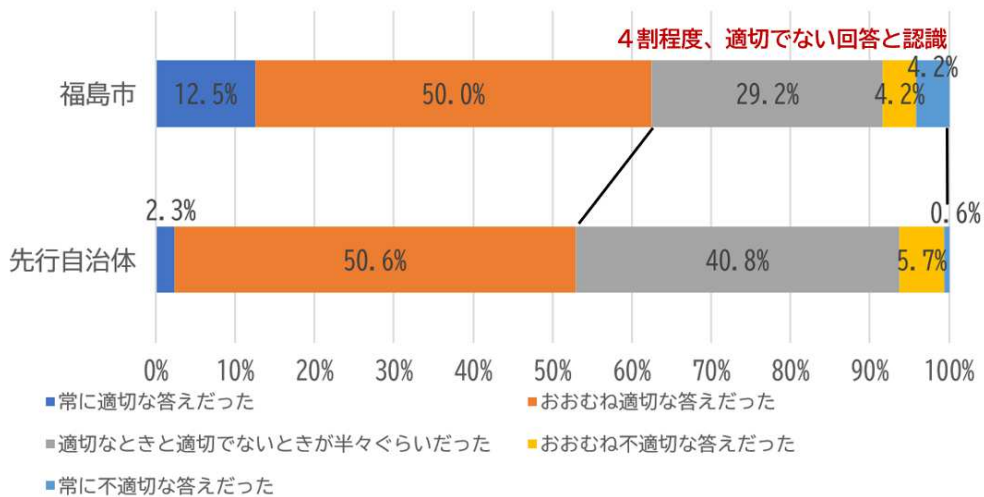
## 文書生成AIを利用して行ったこと（複数回答可）



## 文書生成AIを利用している頻度

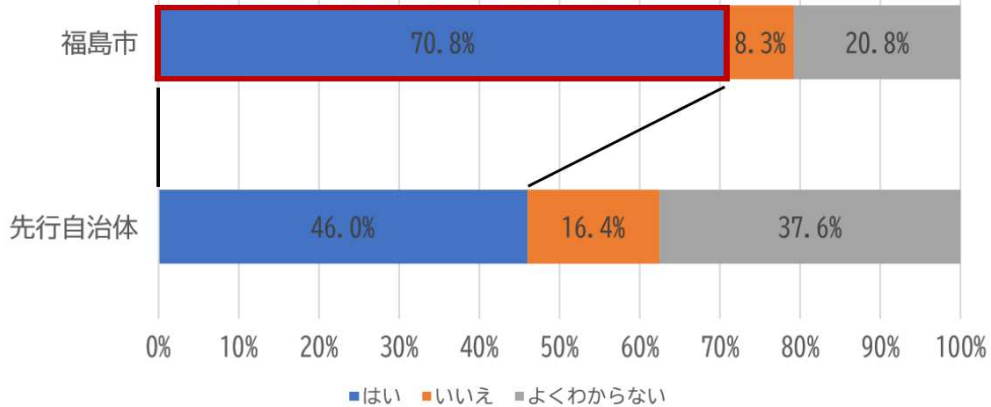


## 文書生成AIの回答は、どの程度適切だったと感じたか



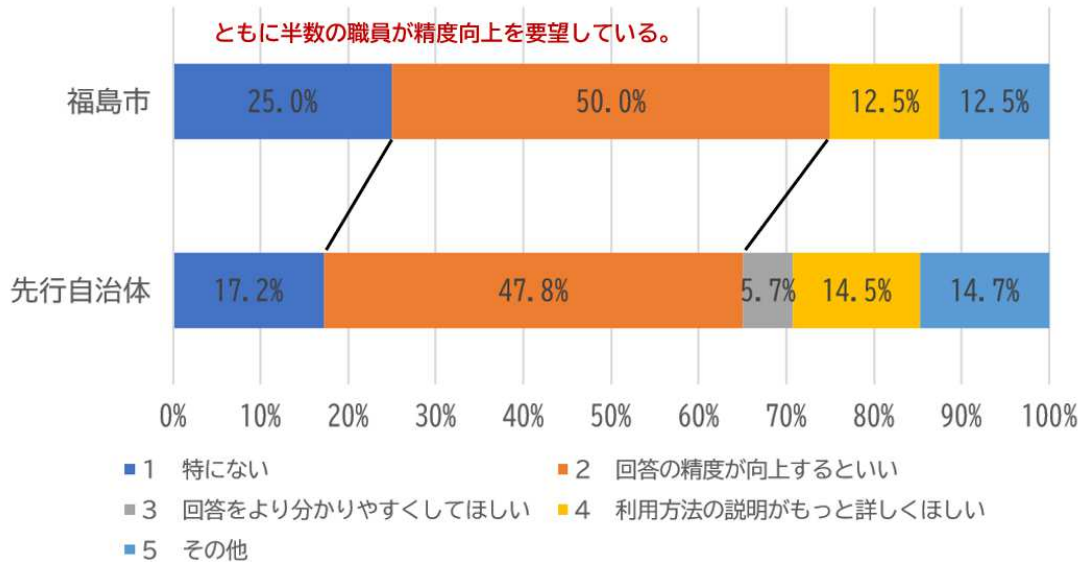
文書生成AIの利用で、従来の方法では得られなかったアイデアや知識を得ることができたか

福島市は、文書案等の作成に使用している割合が多いことから、新しいアイデアを得られた人が多いと考えられる



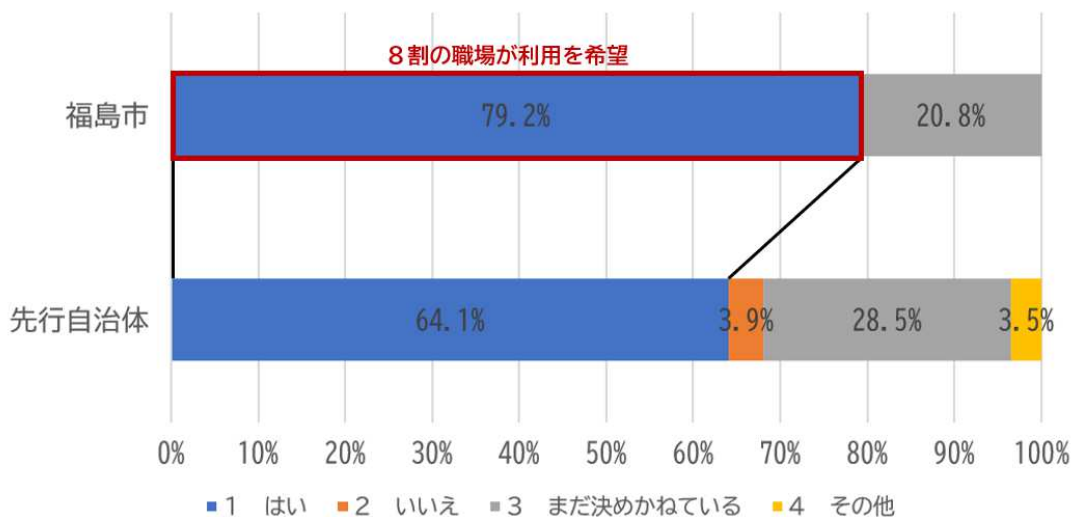
文書生成AIに対して要望・改善点があれば教えてください

ともに半数の職員が精度向上を要望している。



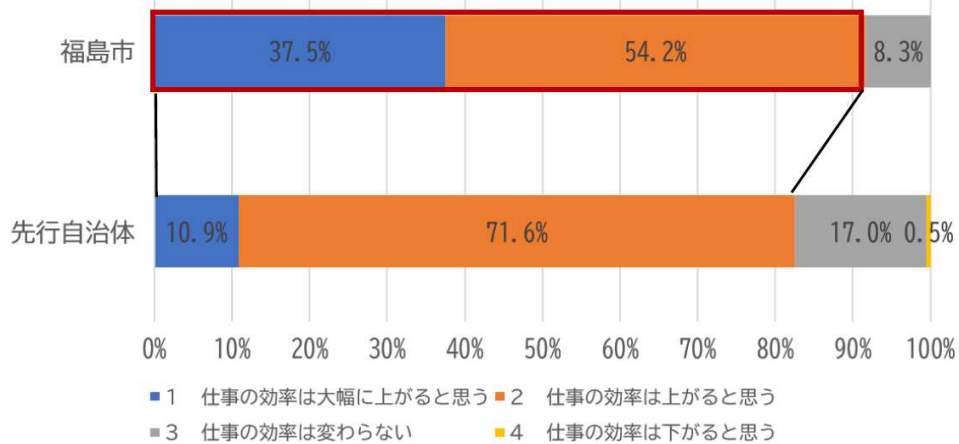
文書生成AIを今後も（もしくはこれから）利用したいと思うか

8割の職場が利用を希望

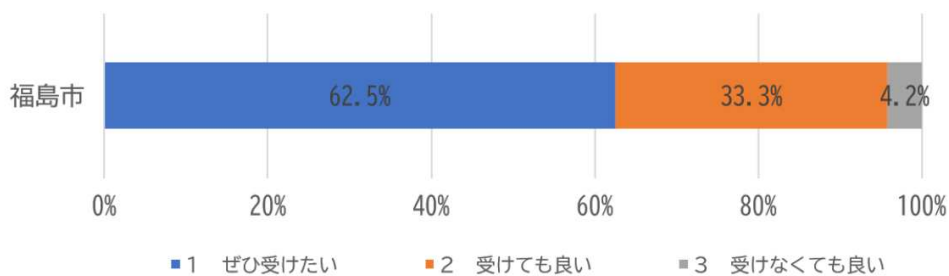


### 文書生成 AI を利用すると仕事の効率が向上すると思うか

福島市は、9割の職場で、仕事の効率が上がると捉えている。



### 便利な使い方の研修があれば受けたいか



文書生成 AI に対して要望・改善点があれば教えてください

オレンジ=要望

ブルー=危惧

- ①質問の例を挙げてほしい。命令文のテンプレートを掲示してほしい。
- ②主に VBA のコーディングの際に利用。複数の機能を有するコードを要望すると、回答の正確性が失われたりします。また、複雑な要望を行った際には、エラーの発生やフリーズすることも多く見受けられます。
- ③利用方法の説明というよりは、質問事例集や質問の見本がほしいと感じた。
- ④より具体的な回答を引き出すための適切な聞き方（情報量の程度や入力方法）を知りたい。

その他、自由記載

オレンジ=要望

ブルー=危惧

- ①画像生成 AI や officel における AI が使用できると助かります。
- ②可能性が大きすぎることとやはり考える力や調べる力が衰えそうな危惧もある。今後生成 AI がないと仕事が出来なくなりそうな予感もする。
- ③まったく未経験の業務を実施するときに、状況を詳細に入力することで、大まかに知識を得ることが出来た。
- ④アンケート結果の分析などに使用したいが、データの渡し方が分からない。
- ⑤おそらく「知らない」「わからない」ことに不安があり、使うことに敷居を感じる職員が多いのではないだろうか。こんな質問をしたら便利だったという事例集の収集が行内で共有できると、活用がさらに飛躍すると思う。
- ⑥公表前に情報が漏洩しなければ活用可能。

# 文書生成A I 第1回アンケート結果まとめ

## 1 ChatGPTの業務利用について、ポジティブな反応

- 9割以上の職員が、「仕事効率の向上につながる」と回答
- 8割の職員が、ChatGPTの継続利用意向あり
- 7割の人が新しいアイデアを得られた

## 2 ChatGPTの業務利用への改善点

- 「適切でない回答」「精度の低い回答」→4～5割

## 3 まとめ

- おおむね、文書生成A Iの有効性について確認した。  
特に、単なる検索ではない使用方法において効果が期待できる。
- 質問の見本（テンプレート）など、使い方の例を要望する声が多く、効果的な利用方法について周知し、広く実務で活用する機会を設ける取り組みが必要。

# 文書生成A Iの今後の活用方針

- ・今年度はフリー版のChatGPTの使用となり、入力可能な文字数の制限などがあるため、引き続き文書生成A Iの試用を継続します。
- ・便利なプロンプト（指示や質問）の紹介など、利活用を全庁へ展開します。
- ・「福島市文書生成A I利活用ガイドライン」の改定は実施しません。  
ログの確認（有償版ChatGPT）では、個人情報や法的制約（著作権・商標・特許等）の侵害は、確認されず、適切な運用が各所属でされていました。
- ・文書生成A Iの安全な運用について、今後も継続して検証を重ねます。

担当：情報企画課 情報企画係  
課長 蛭田 課長補佐 高橋  
電話 024-525-3709（直通）

# 業務で文書生成A I を試用！～中間報告を取りまとめました～

- ◆利用した文書生成A I（6月29日～）ChatGPT
- ◆利用実績（利用29課 アンケート回答24所属）

## 文書生成A I 第1回アンケート結果まとめ

### 1 業務利用について、ポジティブな反応

- ・ 9割以上の職員が、「仕事効率の向上につながる」と回答
- ・ 8割の職員が、文書生成A I の継続利用意向あり
- ・ 7割の人が新しいアイデアを得られた

### 2 ChatGPTの業務利用への改善点

- ・ 「適切でない回答」「精度の低い回答」→4～5割

### 3 まとめ

- ・ おおむね、文書生成A I の有効性について確認した。  
特に、単なる検索ではない使用方法において、効果が期待できる。
- ・ 質問の見本（テンプレート）など、使い方の例を要望する声が多く、効果的な利用方法について周知し、広く実務で活用する機会を設ける取り組みが必要。

# 業務で文書生成 A I を試用！ ～中間報告を取りまとめました～

## 文書生成 A I の今後の活用方針

1. これまではフリー版のChatGPTの使用でしたが、入力可能な文字数の制限などがあるため、有償版の導入に向けて進めていきます。
2. 便利なプロンプト（指示や質問）の紹介など、利活用を全庁へ展開します。
3. 文書生成 A I の安全な運用について、今後も継続して検証を重ねます。
4. 今回は「福島市文書生成 A I 利活用ガイドライン」の改定は実施しません。